

神戸市がガバメントクラウドファンディングに挑戦 2月末まで支援を呼びかけ

神 戸市は昨年12月から、課題解決型ふるさと納税「ガバメントクラウドファンディング(GCF)」でプロジェクト4件を開始し、2020年2月下旬まで支援を呼びかけている。

GCFとは、ふるさと納税専用ポータルサイト「ふるさとチョイス」でふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングのことで、自治体が抱える課題解決に必要な資金を集めるため、具体的なプロジェクトとして公開している。神戸市では、昨年6月からふるさと納税が新制度に変わったことを受けて、本来の主旨を踏まえた取り組みを推進している。

プロジェクトは①日本のロボット開発競争力向上のために、子どもによる子どものための「子どもが楽しいと思える」ロボットプログラミング教室を開催したい②児童養護施設で生活する高校生の部活動を支援し、神戸の未来を担う大人に成長するよう応援したい③阪神・淡路大震災の犠牲者の鎮魂と都市の復興・再生のシンボル「神戸ルミナリエ」を継続開催



「日本のロボット開発競争力向上のために、子どもによる子どものための「子どもが楽しいと思える」ロボットプログラミング教室を開催したい」で講師を担当する灘高等学校(神戸市東灘区)2年の武藤照麟(むとうひかる)さん。

させたい④チャレンジ!神戸医療産業都市「生きる」力を支える取り組みの4つ。①では、ロボットプログラミングの世界大会で優勝経験のある高校生が、日本のロボットプログラミングの競争力アップと未来のエンジニア育成のために、自ら教材を考案。これを使ったプログラミング教室の開催を目指して支援を呼びかける。担当者は「開始直後から温かい応援メッセージをいただいています」と手ごたえを感じている。問合せは神戸市税制企画課078-647-9331



CULTURE
コラム
VOL.6

梅花から「令和」を込めて 日本の「元年」はいつ?

新しい元号になって二年目、改めて日本の年号を振り返ってみましょう。皆さんは元年をいつと考えられていますか?西暦ではなく、令和をさかのぼって数える年号です。元号をはいはじめる以前の話になります。

『日本書紀(にほんしよき)』という歴史書には、初代として神武天皇(じんむてんのう)の即位が、元年と記されています。日本の年号は、ここから数えられはじめます。暦を開くと、西暦二〇二〇年が「紀元二千六百八十年」と数えられています。神社に参詣すると、この年号が記されていたりします。

『日本書紀』には、天と地が別れる前から書き起こされています。巻第一と第二に、神が生まれ国が誕生する神話が記され、第三が神武天皇の巻になります。全三十巻。都を藤原京に遷した持統天皇代までのできごとが、歴史として記されています。完成当初は系図も一巻あったようですが、今は残っていません。記述の中には、私たちが住んでいる地名や地域に起きた出来事、神社仏閣の誕生等を読むことができます。南海トラフ地震の記事も見つけられます。

ここでは、同時代に編まれた『万葉集』に関わるエピソードをひとつ。『日本書紀』が表す歴史は、歌を交えて記されています。これは、日本の歴史が、もとは口で語り継

がれ、会話部分等に歌が用いられたためです。オペラのような歌劇を想像すると、考えやすいと思います。これが文字に記され、書物として読まれるようになります。興味深いのは、巻第二十八の天武天皇条の上巻から、記す歴史に歌が見られなくなることです。この巻は、六七二年に起きた壬申の乱を記しています。これ以降に、歴史は『日本書紀』へ、歌は『万葉集』に記すという区別ができていくようです。『日本書紀』も『万葉集』も、天武天皇の時代に編まれはじめていく様子がかがわれます。こうした『日本書紀』の完成は、後を継ぐ『続日本紀』(しよくにほんぎ)に、養老(ようろう)四年(七二〇)のこととして記されています。今年はおおむね、編纂千三百年!図書館で開いて、住まわれている地域の古を尋ねてみるのはいかがでしょうか。もちろん、このコラムでも取り上げていきます。

梅花女子大学教授 市瀬 雅之

現代訳から原文までを用いて『万葉集』に文学を楽しむほか、『古事記』や『日本書紀』等に日本神話や説話、古代史をわかりやすく読み解く。中京大学大学院修了 博士(文学)。著書に『大伴家持論 文学と氏族伝説』おうふう 1997年、『万葉集編纂論』おうふう 2007年、『北大阪に眠る古代天皇と貴族たち 記紀万葉の歴史と文学』梅花学園生涯学習センター公開講座ブックレット 2010年。ほか執筆・講演・講座多数

俳句
HAIKU
VOL.6

12月25日締切りで「ご投句いただいた中から、山口昭男先生に入選作品を選んでいただきました。」

【優秀賞】

尊厳死軽く話して温め酒

吹田市 辻井 玄秋

「温め酒」を下五に置いたことで、詩になりました。季語の本意は、酒を温めて飲むと病気にかからないということ。この季語が尊厳死という重い言葉を軽く話さなければならぬ状況を爽やかに物語ってくれています。

【入選】

口笛で呼べど木枯帰らざり

明石市 角谷 徳実

木枯を口笛で呼んだところが面白いです。

本尊へ大根の煮ゆ匂ひかな

神崎市 西 敬介

本尊と大根の匂いと対比が俳句という詩になつてゆきます。

もういいかいふりかえりみれば冬夕焼

西宮市 井上 未紅

冬の夕焼の深まりのある赤色が印象鮮明。子供時代の素敵な思い出です。

雪だるま転がせし子の嫁ぎ行く

茨木市 山下美穂子

お転婆だった娘も年頃となり嫁に行ってしまった。一抹の寂しさが漂います。

草むらに吹く風そよど春めいて

芦屋市 田中キミヨ

草むらに目を注ぐだけで俳句はできます。見ることが全うだということです。

【佳作】

紅梅の一枝白磁の壺に生け

西宮市 石野 照代

どこからと聞きて別れる梅見茶屋

茨木市 河本 要

ふうふうとひとしきり吹き大根食ふ

神崎市 西 敬介

立呑に鱈の品書き杖の爺

伊丹市 鳥羽 南良

雪催湖北の仏腰ゆたか

西宮市 井上 未紅

【つぶやき評】

俳句コーナーで活字となるのはお一人二句ということではありません。よい作品であれば、複数句選ばれることもあります。投句数は五句まで可能です。ぜひ最大限活用していただいて、自由で闊達な俳句を目指してください。



1955年 神戸市生まれ。1980年「青」に入会。波多野爽波に師事。2000年「ゆう」入会。田中裕明に師事。編集担当。2010年俳誌「秋草」を創刊し主宰する。毎月発行。句集に「書信」「讀本」「木簡」がある。2018年句集「木簡」で読売文学賞受賞。日本文藝家協会会員。

選者
山口 昭男
(やまぐち あきお)

【俳句の応募方法】

氏名・住所・年齢・明記のうえ、ハガキ、封書、FAX、下記の応募フォームのいずれかからご応募ください。

【宛先】

〒566-0001 大阪府摂津市千里丘1-13-23
株式会社シティライフNEW 俳句係まで
FAX 06-6368-3505

【応募フォーム】

<https://pro.form-mailer.jp/fms/f413b102177160>



※締め切りは毎月25日必着 ※いずれも一人5句まで
※掲載は次々号となります
※佳作は掲載をもって発表とさせていただきます。
※お名前と作品を掲載します。

インターネットのお約束「あひルのおやコ」

～ 2月1日～3月18日は「サイバーセキュリティ月間」～ 協力:兵庫県警察



今や、誰もが手軽に利用しているインターネット。そのインターネット上では、子どもたちが見知らぬ人とやり取りをする中で、各種犯罪の被害者となる事件が多発し、犯罪行為への勧誘も行われている。

セキュリティから身体への危険まで、様々な問題に正しく対応できるよう、子どもたちにも自らを守る力をしっかりと身に付けさせたい。

インターネットを安全・安心・便利に利用するためには、危険性を知り、利用時の注意点を親子で話し合い、ルールを決めておこう。合言葉は「あひルのおやコ」。

サイバー防犯標語「あひルのおやコ」

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 【あ】 会いに行かない | ネットで知り合った人に会いに行かない |
| 【ひ】 秘密にする | パスワードは家の鍵と同じ。秘密にしておこう! |
| 【ル】 ルールを守る | みんなで作ってみんなで守ろう!ネットのルール! |
| 【の】 載せない | 自分や友達の名前・住所・写真をネットに載せない |
| 【お】 思いやり | 誰が見ても笑顔になれる「思いやりのある書き込み」を |
| 【や】 やっておこう!フィルタリング | フィルタリングはみんなを守る強い味方!必ずやっておこう |
| 【こ】 コミュニケーションを大切に | 家族や友達、身近な人と過ごす時間を大切にしよう |